



文の京・最先端生命科学講座 第2回 「生物の形作りとヒトの病気、匂いの遺伝学」

東京医科歯科大学難治疾患研究所は、「難治疾患に挑む。」をミッションに掲げる研究所であり、2009年には文部科学大臣により難治疾患の全国共同研究拠点に認定されました。がん、心・血管病、神経疾患、骨・関節疾患、感染症・免疫病、生活習慣病など、幅広い領域にわたって研究していますが、本市民講座では、最先端の研究内容を一般の方々にわかりやすく紹介いたします。今回は、「発生生物学と遺伝学の最新トピック」を2人の講師がご紹介します。

日時：平成23年10月28日(金)午後7時～9時
場所：文京区シビックセンター5階会議室

講演 1 生物の形作り：カエルの形態学と疾患研究の関わり

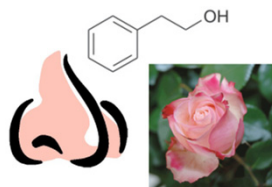
講師：後藤 利保



一つの受精卵からどのように複雑なからだができるのでしょうか？頭の位置、背中とお腹はどのように決まるのか？このような生物に対する基本的な疑問への解答や、発生過程での形作りの不具合による疾患の解明を目的とした発生生物学の研究を紹介いたします。

講演 2 匂いの遺伝学

講師：新村 芳人



わたしたちの鼻の中では、匂いを検出するためのタンパク質、嗅覚受容体が働いています。ヒトは約400種類、マウスは1000種類以上もの嗅覚受容体遺伝子をもっています。様々な生物の嗅覚受容体遺伝子を比較することで、謎に満ちた嗅覚という感覚について明らかになってきたことをご紹介します。

皆様のご参加をお待ちしております。(入場無料)

事前登録は不要ですが、予約を希望される方は文京区の担当まで住所・氏名・電話番号を記した往復はがきでお申込み下さい(区ホームページからも申込可)。

© 〒112-8555 文京区アカデミー推進課 ☎(5803)1307

共催： 文京区

 学際生命科学東京コンソーシアム
Tokyo Interdisciplinary Life Science Consortium

学際生命科学東京コンソーシアムは東京医科歯科大学、お茶の水大学、学習院大学、北里大学と連携して、地域のみならず産官学連携によるイノベーションの推進に貢献します。